

卒業おめでとう!! 第31回生



第 99 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校PTA

平成28年3月1日発行

第31回期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

以前ここで「自分を知ること、自分を好きになることが幸せにつながる」と申しました。ではどうやったら自分を知ることができるのでしょうか。それが大問題です。自分を知るためには自分を映し出す鏡が必要です。ではその鏡とは何か。それは自分以外の「他者」という鏡です。その鏡に自分を照らし合わせて、自分との違いに気づくこと。ときにその違いは自分にとって欠点かもしれない。でも大事なことは欠点にこだわらないこと。自分にはこれが足りない、劣っているから幸せになれないんだ、と思った瞬間から、不幸が始まってしまいます。逆に、他者を認め自分の欠点を否定せずに受け入れた時、それが個性となり長所へと転ずる可能性があります。

メーテルリンクの「青い鳥」は、今の自分のすぐそばに幸せがあることを説いています。実は「今」というこの瞬間が、みなさんは幸せな状態なのです。ただそれと気づくためには、他人とちゃんと向き合う能力が必要です。

人生は、多くの人と出会い、自分の個性とは何なのか、何度も何度も自分に問いかけ見つけつつける旅なのかもしれません。その旅の中で、新しいことに挑戦して、幸せをみつけられる人生は素晴らしいです。

みなさんの人生の新たなステージに幸多かれと願います。



PTA会長
水野信明

しあわせとは

三十一回生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、今日まで温かく見守り、力強くご支援を下さった保護者の方々にも深く敬意と感謝の念を表しますと共に重ねてお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは大府東高校での三年間、数多くの人との出会いがあったことと思います。クラスや部活動で出会った友、先生……。世界には七十億を超える人がいるわけですから、その人との出会いは奇跡とも言えます。知多郡武豊町出身の哲学者・教育者である森信三先生は次のように言っています。「人生、出会おうべき人には必ず出会う。しかも一瞬遅からず、早からず。しかし、内に求める心なくば、眼前にその人ありといえども縁は生じず。」皆さんは、それぞれの道でさらに多くの出会いが待っていることでしょう。そして、その出会いは、「人」とどまらず、「書物」や「出来事」でもあるかもしれません。「内に求める心なくば、眼前にその人ありといえども縁は生じず。」です。謙虚に、そして感謝の気持ちを持ち、これからの出会いを大切にして、一歩ずつ人生を歩んでいくことを切に願います。



校長
高井俊直

出会いと縁



贈る言葉

今から「」から

三学年主任 菊地 純弥

卒業おめでとうございます。この三年間で成長したと実感できるでしょうか。

「当たり前前の事を当たり前」

はじめをつけて行動を促す意図でよく使いました。さらに続けると、当たり前前の事が当たり前前にできる環境にも感謝をして生きてもらいたい。自分一人で生きていくのではなく、保護者や周囲の多くの人の支えがあり、自分の人生があるのだから。感謝の気持ちがあれば自然と私心を捨てた行動になるはずですよ。

「自立・自律」

他人に依存せず自分で行動すること。自分をコントロールすること。困難な壁に挑み乗り越えること。これらは、社会に出てからも重要で、学年スローガンにもしました。やるべきことに向き合い、地道な努力を積み重ね、ひとたび事を始めたら、少々うまくいかなくても、簡単にあきらめないでほしい。途中であきらめてしまえば、そこで失敗となるから。もう少し辛抱して努力を続ければ、成功を収める道がひらけてくるはずですよ。

今の積み重ねで出来てゆくのがこれからです。自分なりの成功を目指し、新たな第一歩を踏み出そう。今からここから

変化することの意義

一組担任 田中 伸一

三年間、君たちとは、担任、教科、部活動、生徒指導等、様々な場面で学校生活を共にしてきました。担任、教科、部活動については、良い所も悪い所も、今となつては、お互いに良い思い出として残っていると思います。しかし、身だしなみ指導、遅刻指導、特別指導等、生徒指導に関しては、基本的に良くないことで話し合いをした記憶が残っているのではないのでしょうか。

よく考えてみると、指導をする教員、指導を受ける生徒、双方の考えていることが理解できず、ぶつかり、長い時間をかけてようやく状況を理解し、前進していく。まさにその過程が、現状を打破し、成長する瞬間だと思います。

高校三年間で様々な経験をし、考え方の幅も広がり成長することは、容易に想像できていましたが、私自身、社会に出てもお、変化を続けることができたのは、君たちのおかげです。ありがとう。これからは、もっと様々なことにおつきり、乗り越えていかなければなりません。自分を突き通すもよし、変化しながら対応するもよし。それぞれで、新しい経験をして下さい。卒業おめでとう。

夢に向かって

二組担任 兵藤 浩二

曲がりくねった道の先に待っている
幾つもの小さな光
まだ遠くで見えていなくても
一歩ずつ
ただそれだけを信じてゆこう

好きでも嫌いでも、とにかく今までは目の前にあった舗装された道を、周囲に助けられながら歩いてきた。でもこれからは、自分の夢に向かって進む自分だけの道を、自分で作っていく。それは平坦とも、真つ直ぐとも限らない。不安だけど、ワクワクもする。結局どうなるのかは誰にも分からないのだから、心配しないで何でもやってみればいい。やってみたい後ろに自分だけの道ができていくから。そしてその道が自分の夢に繋がっていくんだから。

曲がりくねった道の先に
夢見てた
あの日の僕が
待っているから

(WINDING ROADより)



自分のものさし

三組担任 福田 靖弘

Winston S. Churchill — 'Personally, I'm always ready to learn, although I do not always like being taught.'

この言葉はあるラジオ講座の quote unquote のコーナーで紹介されていたものです。

なぜか、ずっと頭に残っていました。私は、自分で勝手にする勉強は楽しいという内容だと思っています。

さて、ご卒業おめでとうございます。これからは自分で行動を選ぶことが多くなります。

卒業後の十年間にどう遊ぶかで自分の考え方が決まる気がします。健康第一で自分の身体を大事にして、人生楽しみましょう。



これから大人になる君たちへ。

四組担任 塩澤 光

尊敬すべき理想の大人像を中々得難い時代ですが、「こんな大人になりたくない」と、他者を否定的に見ることは容易です。けれど人間は怠惰な日々を送っていたら、その「なりたくない大人像」に向けて一直線です。そうならないためには失敗した後の対処の仕方が重要です。やってしまった失敗は変えられませ

ん。まずきちんと謝ること。次に挽回するべく出来るだけの努力を続ける。それが認められるかどうかは相手次第であつて、あなたに決定権はありません。それでも認めてもらえなかつたら、残念ですがその人とは距離を置きましょう。大丈夫、世界は広いです。ただ、失敗のきっかけが自分にあつたことを忘れずに。でないと同じ失敗を繰り返し、あなたの世界はどんどん狭くなります。

世の中には色んな人がいます。謙虚にひたむきにその人たちと関わって下さい。世界の広さは関わる人の数でなく、関わり方の深さで決まります。出来るだけ広い世界で幸せに過ごして下さい。

最後にBLUE HEARTSの「人にやさしく」の歌詞を私からの「贈る言葉」として終わります。

前向きに 幸せに

五組担任 杉山久美子

三十一回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活は有意義な三年間でしたか？成長したなって思えますか？

私が高校生の時は、とにかく学校が大好きでした。友達が好き、先生が好き、勉強が好き、部活が好き。今思い出しても良い思い出ばかりです。

その後、大学に進学したのですが、大学は大学で楽しかったです。教員免許取得のために勉強したり、卒業研究したり、部活にも入っていて、日々充実していました。

同じことをするにしても、「自分はこれを好きでやっているんだ！」っていう前向きな気持ちで楽しみなが取り組んだ方が、絶対に幸せだと思います。後ろ向きな気持ちになったときは、誰かに話してスッキリして、また前を向いてください。

これまで学んだこと、これまでの出会い、関わりを今後も大切にしながら、これから前向きに成長し続けてください。

次に会ったとき、みなさんが今よりもっと素敵な人になってくれていて、ことを願いつつ、お祝いの言葉とさせていただけます。

勇猛果敢

六組担任 榎原 啓文

「勇ましくて強くて、決断力に富むこと。多少の抵抗にも負けず、思い切つて物事を行うこと。」

勉強は当然のことながら、三年六組のハイライトはまさに大東祭の影絵。誰もができぬと思つていたことを三十八人の力で、まさに勇猛果敢にチャレンジをし、人々に感動を与える作品に仕上げました。あの頃からでしょうか、私は一つ確信したことがあります。このクラスは何かが違うと。

不可能だと思つていたことを見事にやり遂げたみんなへ。挑戦すれば何かが変わるぞ。そして、挑戦するならでかいことをやれ。しかもでかいフィールドで。日本に留まっていけないよ。言葉の壁

なんか負けず、勇気を持って海外に行きなさい。世界にはいろんな人がいるから、自分の価値観にさらに磨きがかかる。パスポートを取って世界へ。飛び出す

のは怖いけど最初の一步を「勇猛果敢に」踏み出せば、君たちは世界で何かができる、そんな気がするのです。広い世界で思う存分、羽ばたいて下さい。飛躍を！

感謝十涙十努力II花

一組副担任 杉浦 未妃

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。

当日は、皆さんが主役です。沢山の日に祝福され、成長した姿に光があたる日です。しかし、同時に感謝をする日でもあります。毎日元気に学校へ行けたのは誰のおかげでしょうか。毎日楽しく過ごせたのはなぜでしょうか。思い出してください。皆さんの生活を毎日支え、笑顔を絶やさずここまで過ごせたのは、陰ながら親御さんが見守っていてくれたからです。これは当たり前なことではありません。親御さんの愛情と、皆さんの努力する姿があつたからこそ、応援したい、支えたいという気持ちが原動力となったのだと思います。当日は思い切つて、

「今日までありがとうございました。これからよろしくお願ひします。」と感謝の気持ちを伝えましょう。

最後に… 今ある環境の全てに感謝をし、努力を惜しまず、何事にもチャレンジしてください。例え失敗してもそれは通過点であり、自らを成長させるひとつの種です。その種に悔し涙という名の水と、努力という名の肥をやり、将来、素敵な花を咲かせてください。応援しています。

勉強は本当はおもしろい

二組副担任 齋藤久美子

ご卒業おめでとうございます。

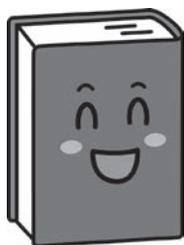
「勉強はおもしろい」と書いても、今すぐ「そうだ!」と同感できる人は少ないでしょう。私も高校時代そんなに勉強が好きだった訳ではありません。たとえば生物は大嫌いで、試験があるので仕方なく勉強していました。

ところがあるときクローン技術に興味を持ち、本を買って何冊も読みました。内容はまるで覚えていませんが興奮して読んだのを今でも覚えています。高校時代の生物の知識が何とかあったので専門外の事も楽しく読めたのです。

このような例をいくつか経験しました。今は試験のために勉強した、という動機で充分です。単位がとれるだけ勉強したのだから、将来興味を持った時には十分に勉強を再開できます。

そして現在は著名な大学の講義がオンラインで無料で聞ける世の中になっています。今はこんなことは忘れてもらって結構です。でも将来ふと勉強したいと思ったら、いつでも気軽に勉強を再開してください。

勉強は本当は面白いからです。



大府東高校での三年間

四組副担任 福田 理美

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。晴れて卒業の日を迎えられた皆さんに、思い出の「トリセツ」を紹介したいと思います。

一、楽しい思い出こそ一番にしまおう
楽しい、素晴らしい思い出は、毎日でも思い返したくなりますよね。ですが、それらは時に私たちを過去に縛り付けてしまいます。「前の方がよかった」「以前はくだったのに」という思いは新たなものを生み出しません。

二、辛い思い出も捨てない
中にはすぐにでも忘れてしまいたいものもあるかもしれませんが、少し待って! アルバムの奥の方にしっかりと貼り付けておきましょう。いつかきつと、それがあってこそその自分、と思えるはずですよ。

どんなに素晴らしいものも、辛く苦しいものも、全て同じ過去です。過去は今の皆さんに繋がってはいるけれど、未来を創ってはくれません。全てを心のアルバムに綴じ込む勇気を持って、新しい世界に大きく踏み出してください。そしていつか、全ての思い出が皆さんの心を強くするものへと変わっていることを、そんな大府東高校であることを願っています。

道

五組副担任 右田 真也

これから皆は自分の目標に向かってそれぞれが新たな一歩を踏み出します。もしかしたらそれが第一希望の進路ではないかもしれませんが、第一希望の進路に行く人が幸せで、第二、第三希望で決まった人が不幸なのではありません。進む道を幸せにするのか不幸にするのかは自分自身です。その道で精いっぱい生き、夢を叶えてください。

これからたくさん分かれ道に出会うと思います。どうしたらいいのかわからないことがたくさんあると思います。道に迷ったら、辛いほうの道を選んでください。一つ一つの分かれ道で、楽なほうを選びたいのが人間の常です。そこをグッとこらえて、辛いほうを選んでください。きつと最後に夢を実現できた喜びを感じる事ができるはずですよ。

三年間、君たちの成長を身近で感じる事が出来たことを誇りに思います。
サッカーの好きな人、サッカーのために努力した人。猛暑の夏、極寒の冬、一つのボールを皆で追いかけたことを一生忘れないでいてください。その仲間を一生大切にしてください。また、会いましょう。また、ボールを蹴りましょう。待っています。

諦めないこと

六組副担任 近藤 真央

ご卒業、おめでとうございます。高校卒業はゴールではなく、一人ひとりが新たな一歩を踏み出すスタートです。

この先、様々な困難が待ち受けていて、嫌なことから逃げたくなるかもしれません。ですが、「諦めたら、そこで試合終了」です。困難は乗り越えることで大きく成長できるチャンスとなります。逃げることは誰にでもできます。でも、立ち向かわなければならぬ場面が必ずあります。嫌なことから逃げてきた人は、逃げるといふことも卒業しませんか?

困難なことへの挑戦は、勇気がいると思います。「どうせ無理だろう。」と諦めてしまえば、良い結果は得られません。失敗をしたら、原因をよく考え、次に活かせば大丈夫です。失敗を恐れず、挑戦する気持ちを持ち続けて下さい。

失敗や挫折の経験は、必ず自らの大きな財産となります。最後まで諦めなければ、必ずチャンスの順番は訪れます。自分を信じ、努力を続けて下さい。人生の試合は永久に続きます。自ら「試合終了」のブザーを決して鳴らさないで下さい。



『贈る言葉』新しいステージ

六組副担任 雨宮 豊明

卒業おめでとうございます。四月からは新しいステージに立つことになり、ますます積極的に様々なことにチャレンジして下さい。

大学生は、次の三つのことができていないといけませんと言われます。それは、大学の勉強・アルバイト・サークル活動。そして、理系は更に研究。大学の勉強とアルバイトの必要性は君たちも十分に分かっていることと思います。ではサークル活動はなぜ必要なのか。一言で言えば『人間性を高める』ことと『人脈作り』です。大学四年間は自分の時間が高校生のとくとは比べものにならないくらい多く取れます。キャンパスライフが勉強とアルバイトだけであれば毎日が単調で限られた人しか交流ができません。人と違った何かをしようと思っても見つかりません。よく就職面接であなたは学生時代に何をしましたかと聞かれます。そんな質問にどう答えますか。ですから運動系、文化系、少し緩いサークル活動でもいいから積極的に参加し自分とは異なる価値観をもった学生たちと交流してほしいのです。それにより自分は何をしたらよいかが見えてきます。新しいステージは新たな出会いがあり自分を変えるチャンスがぶら下がっているのです。

在校生代表

先輩方との思い出

後期生徒会長 中川 由稀

私は、一年半の間、先輩方の部活動での姿を見てきて、とても憧れていました。

私が部活動に入ってから、一年生同士で基礎練習をした後、自分は演劇部なので劇の台本を読んだり、その後に劇の動きをしたりするのですが、その時の先輩方の真剣な姿を見て、とてもかっこいいと思いました。

私は毎日先輩方の姿を見て、自分も二年生になれば、先輩方のようにしっかりとされていて、自分自身の役割をこなせるようになるかなと思いつつ、部活動に励んでいました。演劇で使う道具や、演劇用語などがわからない時は、先輩方が親身に教えてくださったり、演技などでわからない所があった時は、実際にお手本を見せていただけるのが、とても嬉しく、練習に対する意欲も湧き、積極的に取り組むことができました。このように、先輩方から教わったことが、数えきれないほどあるので、私も何かを先輩に伝えることができるように、これからもしっかりと部活動に取り組んでいきたいと思っています。精神面でも、多くの気持ちの変化をもたらしてくださった先輩方に、心から感謝しています。



卒業生メモリーズ



